

活躍の場は世界！

幹部自衛官として語学力を活かし世界で活躍する



防衛大学卒業後、幹部自衛官として語学力を活かしたいなら、その機会はいくつもあります。

防衛省・自衛隊では、1991年の湾岸戦争後のペルシャ湾掃海艇派遣以来、PKO（国連平和維持活動）への協力、海賊対処、大規模災害時における緊急援助など、海外でも様々な活動を行っています。

幹部自衛官は、部隊派遣もあれば、個人派遣もあり、現地での部隊指揮だけでなく、コミュニケーション力を活かして各国将校や現地職員を率いることも求められています。さらに、在外公館、国連、NATO等の機関での勤務もあります。

防衛大学では、第3・4学年を対象として年間約50名がアメリカ・フランス・ドイツなどの各軍士官学校へ留学することができます。

過去に海外で生活された経験のある方も、他国で培われた語学力や国際感覚を活かし、幹部自衛官として世界で活躍することができます。